

NTTコミュニケーションズ

“BizCITY” 実現に向け、インターネット／モバイル網と閉域網をつなぐ“ゲートウェイサービス”を提供

「所有」から「利用」へ—— 新たなICT活用モデルを提案

多くの企業は、たゆまない生産性向上を図るため、国内外の部門・拠点・グループ会社を超えて社員間や顧客・取引先とのスピーディでセキュアなコミュニケーション環境の向上が重要な課題となっている。また一方では、ICTインフラの構築や運用はノンコア業務にあたり、これを順次アウトソース化し、経営戦略やグローバル展開などコア事業への集中も求められている。こうした背景から、情報システム部門がさほど大きくない中堅企業を中心に、ICT活用モデルが「所有」から「利用」へと変化している。

また昨今では、基幹ネットワークに使われる閉域網だけでなくモバイルブロードバンドなどをICTインフ

ラに取り込み、モバイルネットワーク／インターネットまで含めて広域イントラネットとして活用したいというニーズが益々強まっている。

NTTコミュニケーションズのプラットフォームサービス部では、企業のICTインフラの中でも特にインターネット／モバイル網と閉域網をつなぐ「ゲートウェイ（GW）サービス」を担っており、サービス開始後数年を経て、大手・中堅法人を中心に合計100万人（ID）以上の社員が利用している。今後は、NTTコムの「BizCITY」構想である「いつでもどこでも」「安全・便利」なサービスを推進し、“オールNTTコム”として、新しいビジネスモデルやワークスタ



NTTコミュニケーションズ(株) プラットフォームサービス部 担当課長 井上 真也氏



NTTコミュニケーションズ(株) プラットフォームサービス部 鈴木 隆人氏

イルの提案を強化しようとしている。

VPNバンドルでインターネットGW機能を安価に提供する 「セキュアICT over VPN」

NTTコムが提供する、インターネットGWサービスとして多くの実績を誇る「セキュアICTサービス」は、大手企業のアウトソーシングニーズに応えるインターネットGWサービスとして、数多くの導入実績を誇るが、2008年10月からは、NTTコムの統合VPNサービスをお使いの企業がより安価に利用しやすくした「セキュアICT over VPN」の提供を開始した。本サービスは、統合VPNとの接続機能を具備し、SaaSモデルとしてメールやプロキシ機能などのインターネットGW機能をトータルで提供するサービスである。VPNとのシームレスな環境のもと、基本サービスに加えて、一般的にメールやWebアクセスで必要とされ

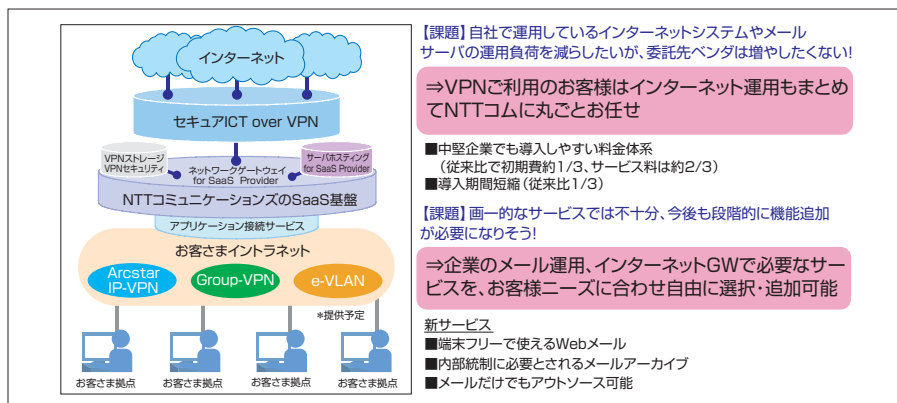


図1 業界初のVPNバンドル型セキュアインターネットGWサービス「セキュアICT over VPN」

るセキュリティ対策など豊富なオプションメニューを選択することができる。主な特長について、NTTコミュニケーションズ(株)プラットフォームサービス部プラットフォームエンジニアリング部門 担当課長の井上真也氏は次のように語っている。

「本サービスでは、画一的なサービスでは難しかったVPNユーザー向けのファイアウォールポリシーと一元ログの提供などが可能です。また、インターネット接続のマルチホームやサーバ/ネットワーク機器の完全冗長化により、BCPやDR対策の強化も可能です。基本サービスは月額10万円程度から利用できますので、目的に合わせて段階的に導入することも可能です。メール環境のみアウトソーシングしたいというニーズに対応する『セキュアメール over VPN』もあります。」

どこからでもメールを閲覧できる「法人向け高機能Webメール」

「セキュアICT over VPN」の新機能として、高機能版Webメールの提供を開始する。NTTコミュニケーションズ(株)プラットフォームサービス部の鈴木隆人氏は、特長について次のように語っている。

「Webメールは、受信したメールの閲覧や新規メッセージの作成・送信などクライアントソフト同様の操作をブラウザだけで行えるので、自宅や出張先など、どこからでもメールをチェック/返信できます。また、メールをネットワークストレージ上に保存するので、PCがクラッシュしてもメールの消滅を防げます。」

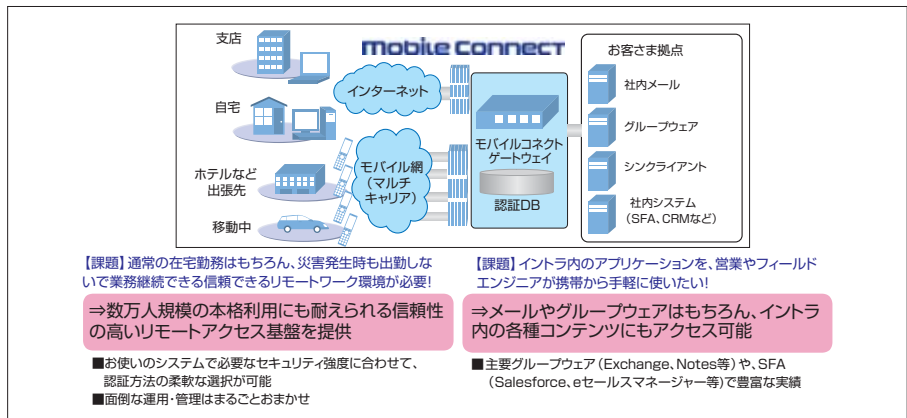


図2 在宅勤務・海外出張から外勤員の生産性向上まで、多彩なモバイルニーズに対応「モバイルコネクト」

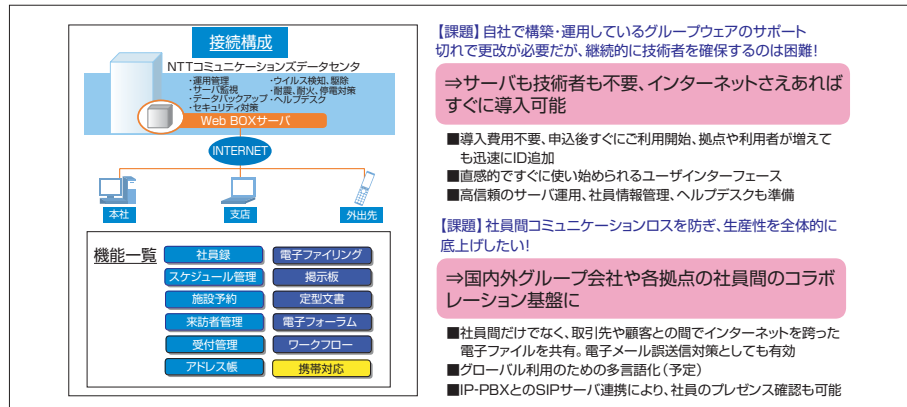


図3 操作性抜群で技術者不要のSaaS型コラボレーションツール「WebBOX」

様々なビジネスシーンに対応した「モバイルコネクト」&「WebBOX」

NTTコムでは、携帯電話、PCからのリモートアクセス環境を実現する「モバイルコネクト」を提供している(図2参照)。最近ではPCにクライアントソフトが不要なSSL-VPNを用いた自宅や国内外事業所からのリモートワークでの利用が拡大しているほか、PC端末を特定した認証などにより、モバイル&セキュアを追求したニーズにも対応している。またBCP対策の本格化に伴い、災害発生時の社員安否確認や在宅勤務による事業継続としての引き合いも増加している。

そして、部門や会社を超えたプロジェクト型でのワークスタイルに最適なスケジューリング、ファイル共有のSaaS型グループウェア「WebBOX」(図3参照)は、操作性の良さについて高い評価を得ている。IP-PBXのSIP連携によるプレゼンス表示や多言語化にも対応予定で、オフィス、国を超えたチーム間でのユビキタスワークをより強力にサポートする。

<お問い合わせ先>
NTTコミュニケーションズ(株)
 TEL : 0120-502-568
 (9:30~18:00 土・日・祝日を除く)
 URL : <http://www.ntt.com/secureict/>